

# lafont.

カフェ・ド・ラフォン 23 号

Q&A 春夏コレクション (silmo) 2015

1. シルモ展で発表されたコレクションテーマ「ブルー・サンシャイン」について教えてください。



春夏コレクションのテーマは「ブルー・サンシャイン」です。「ブルー」には、空の色や冷たい水、穏やかさ、誠実さ、真実などの意味があり、また、「サンシャイン」は太陽の光や活力を意味します。このふたつのワードを組み合わせ、「夏の日差しの下での穏やかでリラックスした時間」を表現しています。

また西欧では「ブルー」はその色味が明るくなればなるほど自由や新鮮さの度合いが強くなりますし、「サンシャイン」は「君は僕の太陽だ」と表現する時のように、自分が存在する世界を明るく照らしてくれる人という意味合いも持つので、近しい人への愛称としても使われています。

POP画像には、明るい色のドレスを着て裸足で太陽を浴びながら横たわる女性をモデルにし、コレクションにナチュラルで新鮮、穏やかな雰囲気プラスしました。それは、シンプルでソフトなデザインと、細部にまで繊細なこだわりを込めた今回のコレクションに通じるイメージです。



1～3. ラフォン・テイストに仕上げたルーブル美術館の肖像画が人目を引くディスプレイ。4. リエディション・シリーズのディスプレイも肖像画タッチに統一。5. 外側から見たブース。6. ラフォン・ファミリー（左からトーマ、フィリップ、マチュー）。会期中に専属カメラマンが顧客やスタッフを撮影し、セルフイーで印刷して壁に飾った写真のうちの一枚。

シルモ展ではブース内を縦断する通路に沿ってディスプレイ台を設置しました。眼鏡を掛けた肖像画と木片が主体となったディスプレイですが、レディスとメンズに使用した肖像画はラフォンスタッフがルーブル美術館で撮影したものに手を加えています。また、フレームを置いた同系色の幾何学的な木片は、彫刻家コンスタンティン・ブランクーシの作品をヒントにトーマが手作りしたものです。

## 2. 今回のモデルのモチーフについて教えてください。

### PLAIRE プレール (POPモデル)

まつげをモチーフにしています。長いまつげは世界中の多くの地域・文化で美の象徴とみなされています。



## PRELUDE プレリユード

フロントにあしらったオープンワークの穴と曲線のモチーフは、ソニア・ドロローネー（次ページで説明するモデル PEOPLE を参照。）の同心円であり、アール・デコや構成主義\*の芸術家が多用した曲線や円からインスピレーションを受けています。



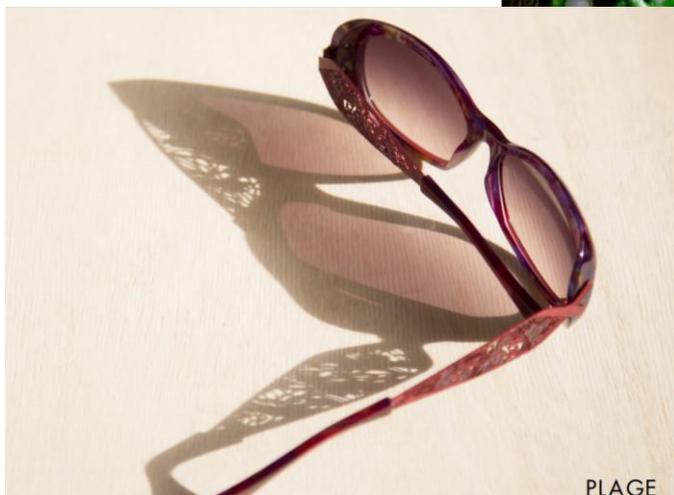
\* 構成主義とは 1910～20 年代にかけロシアに起こり、西欧に広まった抽象芸術運動で、幾何学的な形態の組み合わせによる純粋な構造表現を追求した芸術です。

ちなみに、カシミール模様のフロントにラインストーンをはめたモデル(下の画像・右のモデル)は、アール・デコのステンドグラスに留まる光をイメージしています。



## PLAGE プラージュ

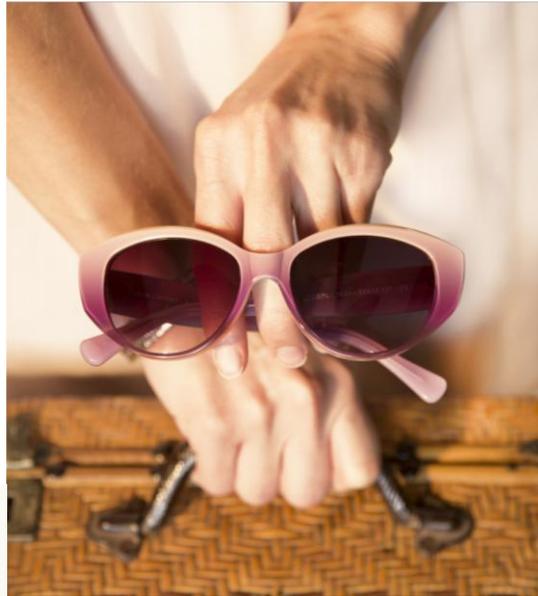
テンプルにあしらわれた花柄モチーフはラフォンのアトリエでのオリジナルデザインですが、インスピレーションは水仙の花から得ています。ヨーロッパでは再生やはじまりを意味する春の花です。



PLAGE

## **PEOPLE** ピーポー (POP モデル)

ウクライナ生まれの前衛画家、ソニア・ドローネーの描く鮮やかな色彩の同心円(=中心が同じで半径が異なる円)や幾何学柄のリズミカルに組み合わせた作品からのインスピレーションです。



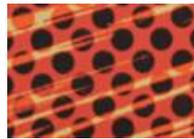
## **PAMPERO** ポンペロ

ラフオンの定番柄である豹柄モチーフをフロントに使用しています。繰り返し定番柄を使用する……これは、ファッション業界が各々の定番柄に対する美意識をこまめに刷新するのと同じで、ラフオンでもしばしば取り入れているテクニックです。



### 3. 新色のドットモチーフについて教えてください。

今回のコレクションでは、モチーフに同心円や円、曲線を使っている延長で、ドット柄のオリジナル生地も作りました。ヨーロッパではドット柄は一般的にはポーランドの民族舞曲を意味する“ポルカ”という単語を付けて“ポルカドット”と呼ばれていますが、この布生地自体はフラメンコの衣装に由来しています。(フラメンコの衣装ではポルカドットの柄が使用されているため。)その後、ファッション業界では80年代後半から90年代にかけて人気が出たモチーフですが、ラフォンでは1979年より使用している歴史的モチーフです。



左から. 3038 カラー(ホーン&ブルードット)、5031 カラー(ホーン&ブラウンドット)、7037 カラー(ホーン&ピンクドット)。



左. モデル PATCHOULI(フレーム)。 右上. モデル PORQUEROLLES(サングラス)。 右中・右下. モデル POLYNESIE(サングラス)。

#### 4. モデル PETALE(ペタラ)はマダム・ラフオンのデザインなのですか？



全く同じデザインではありませんが、マダムの意志を受け継いでデザインしたモデルです。このフレームは、彼女がマーケットや統計、顧客の意向に耳を傾けず自分の気に入るよう自由にデザインしたモデルです。彼女は、一風変わっていて驚くようなデザインなのに掛けるとしっくりくるものを気に入っていました。

今の時代の雰囲気にも通用する彼女のデ

ザインを受けて、トーマがデザインしたモデルです。

#### 5. 今回の POP モデル PALMIER(パルミエ)について教えてください。

ラフオンのオフィスに長年マスター・ピースとして大事に飾られているサングラス BAOBAB というモデルがありますが、これは 80 年代後半～90 年代にかけてマダム・ラフオンがデザインしたストレートテンプルに鮮やかなセル生地を組み合わせたモデルです。ラフオンにとっては“クラシック過ぎ”であり“真面目過ぎる”デザインですが、同じイメージでよりリラックスしたムードを加えるため、新たに PALMIER をデザインしました。



PETALE も PALMIER もラフオンが代々受け継ぐ伝統に根ざしたデザインであり、そこにトーマが新しく手を加えたモデルです。



6. 最近のラフォンブティックのディスプレイを教えてください。

9月のディスプレイ。シルモ展のブースと連動した、ルーブル美術館の肖像画風です。



10月のディスプレイ。“トロンプ・ルユ(騙し絵)がテーマのディスプレイです。





12月のディスプレイ。メガネをモチーフにしたクリスマスツリーのディスプレイです。

1月のディスプレイ。庭小人を使ったディスプレイ。(ヨーロッパでは庭小人は妖精の一種で、人々が寝静まると庭の手入れを手伝ってくれると言われています。)

